

(掲載論文)

- 『国際武器移転史』（編集・発行：明治大学国際武器移転史研究所、年2回刊行）に掲載する論文は、本研究所の掲げる「研究所の目的」に即した学術論文等とする。

(投稿資格)

- 『国際武器移転史』（以下、本誌）に掲載する論文は、原則として、以下に該当する者が執筆した学術論文等とする。
 - 明治大学国際武器移転史研究所（以下、本研究所）の研究分担者と研究協力者
 - 本研究所主催のシンポジウムでの講演者
 - 本研究所が招聘した海外研究者
 - 政治経済学・経済史学会「兵器産業・武器移転史フォーラム」会員およびそこの報告者
 - その他、本研究所編集委員会が認めた者

(掲載論文の種類)

- 論文等のジャンルおよび原稿の上限枚数は、以下のように区分する。いずれも400字詰換算で、統計表・図表・文末注等を含む。
 - 論説70枚
 - 研究ノート50枚
 - 資料紹介30枚
 - 書評10枚

(論文執筆要領)

- 論文執筆に関する詳細事項は、本誌「執筆要領」*に従うものとする。

(論文投稿の申し込み)

- 申し込みの際には、次の点に留意する。
 - 本誌では、未発表の論文等以外に掲載を認めていない。また、当該論文等を他の著作に転載する場合は、事前に本研究所の編集委員会の許可を得ること。
 - 本誌に掲載された論文等の著作権は本研

究所に帰属する。

- 原稿はMS-Wordで閲覧できるファイル形式に横書きを原則とし、1ページ40字×30行で作成する。
- 原稿内に論題以外の個人情報（氏名や所属）は記載しない。
- 論文等のジャンルを問わず、別ファイルで、論題、ジャンル、投稿者の連絡先と所属、簡単な目次、要旨（800字程度、書式は自由）を添付する。
- 原稿は件名を「投稿原稿（氏名）」として、編集委員会宛に電子メールで送付する（rihgate_journal@meiji.ac.jp）。
- 原稿は原則として返却しない。

(提出論文の仮受理)

- 提出論文は、編集委員会が仮受理する。

(提出論文の審査)

- 仮受理された論文は、編集委員会の推薦に基づき2名以上のレフリーにより審査し、論文の仮受理から原則3か月以内に論文執筆者に審査結果を通知する。審査の結果、執筆者に提出論文の見直し・修正を求める場合がある。なお、論文審査員および審査内容に関する問い合わせには一切応じない。

(提出論文の正式受理)

- 編集委員会で掲載を認められた論文は正式に受理される。論説と研究ノートについては、掲載決定後に英文要旨（200 word程度、氏名・所属・肩書・論題を含む）とそれに対応する日本語要旨を提出する。

(論文と要旨の公開)

- 本誌論文は、本研究所のホームページで公開する。

(注) *「執筆要領」については、本研究所ホームページ掲載のPDFファイルをご覧ください。